

令和5年度
五島高校：図書委員会
7月 1日作成
7月28日発行



Welcome to 五高 library

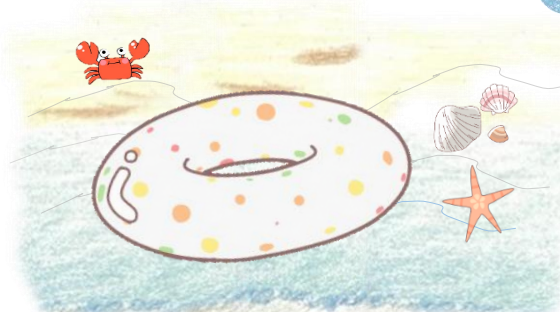
The door to the books

イラスト制作担当
2-3
2-4

図書委員制作担当
3-2
3-2
3-3
習字
1-2

こんにちは!図書委員会です。
みなさん!暑い夏がやってきました。

ぼくたちの夏だから…この本!夢の七夕や戦争と平和の祈りについて盛りだくさんに紹介します。
夏休みなので、たくさんやりたいことがあると思いますが、課題+本を読むようにしましょう!
1・2年生は読書感想文があり、3年生は受験にむけて暑い夏を乗り切りましょう!
知識を深めたいなら、時間がある**今がチャンスだ!!**



7月だよ!本②

題名:あと少し、もう少し
著者:瀬尾まいこ

中学駅伝をテーマにした小説。
大会のために結成された寄せ集めの6人は県大会出場を目指して、襷をつなぎます。それぞれの人間関係と成長が描かれていて、涙が止まりません。
駅伝は走るのはひとりだけど、心の中には「あいつのために走る」という仲間がいる。仲間や応援している人に伝えようとする強い気持ちに感動します。
「あと少し、もう少し、みんなと〇〇したい!」体育祭・文化祭は目の前だ…
3年生は最後の夏!!

全員!本③

題名:かがみの弧城
著者:辻村深月

2017年発売から、五高でも大人気の商品。読んだ人はわかると思いますが、単なるミステリーやファンタジー作品とは言い切れないくらい、深く考えさせられる物語でもあります。

見どころは…

- ① 不登校になった「こころ」と周囲の人間関係の深い心理描写
- ② 違う世界の人と関わることで感じられる希望
- ③ オオカミ様の目的は何?
昨年12月アニメで映画化され、今年6月にはフランスで上映された、日本を代表する作品です。
ナツイチの読書はこれだ!

集合!本④

題名:新釈走れメロス 他四篇
著者:森見登美彦

文豪たちの名作が、現代の腐れ大学生達に置き換えられた。全く違う視点で作り直した青春を描く作品です。
「走れメロス」は、友との約束を守らないために京都の町を疾走する腐れ大学生が一番笑えます。
森見さんの本は、ぜんぶ面白いです。文章の表現方法や物語の切り取り方など、とても上手くて、本にグイグイ入っていきました。
ぜひ夏だから、愉快的な名作を読んでみよう!

夏のとおき映画情報⑤

題名:マイ・エレメント
監督:ピーター・ソーン

リメンバー・ミーのディズニー&ピクサー劇場最新作! 8.4(金)公開!
ここは、火・水・土・風4つのエレメント(元素)が暮らす街。ひとりでは気づけなかった自分の可能性(マイ・エレメント)を見つける物語です。
個性豊かなエレメントたちの出会いが起こす驚きと感動の化学反応をお楽しみください。
夏休みに本土へ行けたら、映画もいいなあ~

準備はいいか!本①

題名:NO.1メンタルトレーニング
著者:西田文郎

運動部に入っているなら見ておきたい!プロが実際に行っているメンタルづくりが学べる本です。
新チームになり、新たなスタートを切った2年生、1年生に送りたい!
今よりも、もっと強くなりたいライバルと差をつけたい人におすすめです。
夏だからこの本を読んで、実践してみよう!必ず優れた選手になること間違いなし!
こまめに水分をとって、熱中症には注意だぞ。

図書館 統計のお知らせ

6月の貸出冊数は374冊です。
昨年度は106冊でした。
6月昼休みと放課後の入館者数は306人でした。



気づいたらその一文が糧になる

令和5年度 朝の読書啓発標語コンクール
最優秀賞 一年六組

今年も語ろう戦争と平和、災害時の命を守るに注目したい

ナガサキは、今年で被爆78年を迎えます。

ロシアのウクライナへの侵攻で、核の脅威が急激に色濃くなっています。すでに1年が過ぎましたが、終戦に向かう動きは全く見えません。このような事態だからこそ、戦争を終えることの難しさを考えましょう。また、自然災害が多発しています。「自助」「共助」「公助」が重要とされています。本などで調べてみましょう。

五島の七夕祭り 星に願いを…

今年も短冊に自分の将来や夢、やりたいことなど様々な願い事を書いてもらいました!

今年も雨の7月7日でしたが、三色の短冊が風に揺られキラキラしていました。

先日、五島の学問の神様である天満神社へ奉納してきました。8月22日は旧暦の七夕、その日まで字のごとく満天の神様に祀られます。

どうか皆さんの願いが叶いますように…

五島が舞台の新作⑥

題名:この夏の星を見る

著者:辻村深月

出版社:KADOKAWA

2020年、コロナ禍による緊急事態宣言。「いつも通り」はすべて消え、全国の学校が休校、授業や行事・部活動が制限された。

茨城・東京渋谷・長崎(五島列島)の中高生たちが物語の中心です。そう!五島の高校生が主人公!

オンライン会議を駆使した天文部の活動は、出会うことになかったはずの人と繋がることのできた。

「離れていても、空はひとつだから同じ星を見られる。」コロナ禍での高校生の活動がすごく眩しくて、感動します。ノンフィクション?って錯覚するほどリアルです。

ぜひ手に取ってみてください。

辻村さんが五島に来ていた!五島も有名になっちゃいましたね~。オックスフォードさんの許可をいただき、色紙を撮らせて頂きました。



おすすめ本⑦

題名:あの花の咲く丘で

君とまた出会えたら

著者:汐見夏衛

おすすめ読者:地域研究・文学志望

この本は、現在の生活に不満を持つ中学2年生の百合が、ある日突然戦時中の日本にタイムスリップしてしまう話です。

「戦争」について知識として、知っている人はたくさんいると思います。しかし誰も戻って体験することはできません。

そこでこの本を読むことで当時の人の気持ちに思いをはせて見るのはどうでしょう。きっとラストは感動できます。ぜひ手に取ってみてください。

おすすめ本⑩

題名:災害が本当に襲った時

著者:中井久夫

おすすめ読者:看護に興味のある人

1995年1月17日に起こった、「阪神淡路大震災」の当時の様子が描かれた本です。

この地震では、火災による被害で、ほとんどの家がなくなりました。医療の発達が進んでおらず、助けられたはずの命が失われてしまいました。

精神的ダメージが大きい人にどのようなケアを行っていたのでしょうか。特に、看護師になろうと考えている人は、どのようなケアを行っていたか考えながら読んでみてください。

おすすめ本⑧

題名:私たちが子供だったころ、

世界は戦争だった

著者:サラ・ウォリス &

スヴェトラナ・パーマー

おすすめ読者:平和を考えたい人

この本は第二次世界大戦の最中に書かれた各国の子供たちの戦争に対する思いが、描かれている。

一番心に残っているのは少年コーラ配給が途絶える中餓死するまで日記を書き続けたところだ。食べられない辛さが鮮明に描かれていて、今を当たり前で生きていることに感謝しないといけなそう思わせるような事がたくさんある。

ぜひ一度読んでみてほしい。

おすすめ本⑨

題名:災害看護と心のケア

著者:米倉一磨

おすすめ読者:衛看生、看護師志望

この本は、2011年3月11日に起こった東日本大震災の時に働いていた看護師さんの実体験について書かれた本です。

もし、災害が実際に起きたらどんな看護が行われていると思いますか?

看護は身体面だけでなく、精神面のケアも必要です。衛生看護科では、3年生になったら災害看護を学ぶので衛看の1、2年生や、看護師を目指している人は読んでみてください。

